

社会資本総合整備計画書
(社会資本整備総合交付金)

一戸町

令和7年1月7日

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月07日

計画の名称	第2期 一戸町民の快適な暮らしを築く道づくり															
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度 (5年間)											重点配分対象の該当				
交付対象	一戸町															
計画の目標	一戸町民の快適な暮らしを確保するため、町道の現道拡幅等を行う。															
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）			250	A	250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7		R11
1	主要な公共施設等への走行時間の短縮			
	主要な公共施設等への走行時間の短縮。現地走行調査及び整備後の走行時間により算出する。	30分	分	25分
	主要な公共施設等への走行時間短縮）＝Σ（現地走行調査による走行時間－整備後の走行時間）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	一戸町	直接	一戸町	市町村 道	改築	(1)摺糠平糠線ほか	現道拡幅 L=1,600m	一戸町	■	■	■	■	■	250		-	
												小計						250		
												合計						250		

事前評価チェックシート

計画の名称： 第2期 一戸町民の快適な暮らしを築く道づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が一戸町総合計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標の客観性・具体性・地域性	
I. 目標の妥当性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○